

# 焼畑あつみかぶ病害虫防除体系

【令和8年版】

2025.12.15登録農薬情報により作成

JA庄内たがわ 温海支所

温海園芸振興部会 あつみかぶ専門部

	対象病害虫	RACコード	登録農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考	
殺虫剤	キスジノミハムシ・アブラムシ類	I:4A	スタークル粒剤	6kg/10a	播種時	1回	播溝土壌混和(播種直後、土壌混和)	
	ネキリムシ類	I:1B	ダイアジノン粒剤5	6kg/10a	出芽時	1回	合わせて 2回以内	土壌表面散布
	キスジノミハムシ				播種時	1回		作条散布
					作物生育中 収穫45日前まで	1回		株元散布
	ハスモンヨトウ・アオムシ	I:1B	エルサン粉剤2	3kg/10a	収穫30日前まで	合わせて 2回以内	【劇物】～櫛引・藤島JAグリーン資材窓口にて、印鑑・受領印必要。	
	キスジノミハムシ・ヨトウムシ ハスモンヨトウ		エルサン乳剤(劇物)	1,000倍	収穫30日前まで			
	カブラハバチ・アブラムシ類	I:1B	マラソン粉剤3	3kg/10a	収穫14日前まで	合わせて 4回以内		
	カブラハバチ・アオムシ		マラソン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで			
	ハスモンヨトウ	I:UN	プレオフロアブル	1,000倍	収穫3日前まで	2回以内		
	コナガ・キスジノミハムシ・アオムシ ハスモンヨトウ・ハイマダラノメイガ	I:30	プロフレア SC	2,000～4,000倍	収穫前日まで	3回以内		
コナガ	I:6	アニキ乳剤	1,000倍	収穫前日まで	3回以内			
キスジノミハムシ			2,000倍					
殺菌剤	軟腐病	F:MO1	コサイド3000 野菜類で登録	2,000倍	—	—	バイカルティ1000倍加用 100～300L/10a	
	軟腐病・べと病	F:MO1	ヨネポン水和剤	500倍	収穫7日前まで	4回以内		
除草剤	畑地一年生雑草	H:9	ラウンドアップマックスロード 野菜類※1で登録	200～500ml /10a	耕起前まで 【雑草生育期】	1回	通常散布50～100L/10a 少量散布5～50L/10a 雑草茎葉散布	

\* 使用時期の「収穫の前日まで」とは、薬剤散布を終了した時刻より24時間を経過するまで収穫出来ないことを示します。

\* 10a当りの散布量は生育に応じて150リットル～200リットル位(除草剤を除く)。

\* RACコードとは農薬の作用性を分類したものです。耐性・抵抗性を付けないためにRACコードが同じ薬剤の連用は避けましょう。

※1 野菜類(えだまめ、はくさい、キャベツ、アスパラガス、レタス、ねぎ、たまねぎ、にんにく、ほうれんそう、にんじん、だいこん、トマト、ピーマン、とうがらし類、きゅうり、なす、びわ(葉)、オリーブ(葉)、たらのき、薬用にんじん、いも類、豆類(種実)を除く)

1. 病害虫は多発してからの防除では遅い！出来るだけ予防防除に努める。
2. 適正な栽植密度とし、間引きをするなど通風・作業性を良くしてください。
3. 高温時の防除は、薬害を起こす恐れがあるので避ける。早朝か夕方に行う。
4. 防除の際は散布機の洗浄を確認し、他剤との混用にならないように注意する。
5. ドリフト軽減ノズルや防薬ネットを使用するなど、飛散防止に努める。